

# 基本計画

## 4. 人も地域も頑張る力



4. 人も地域も頑張る力  
地域づくり

## ① 市民活動の推進

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

### 住民自治協議会(住民協議会)が主体となったまちづくり

住民自治協議会(住民協議会)を中心に、地域と行政が協働・連携し、誇りと愛着を持てる地域づくりをめざします。

#### ■ 現 状

- 住民自治協議会(住民協議会)の認知度が上がり、地域主体のまちづくりが計画的に進んでいます。
- 市民活動センターを中心に市民活動団体の育成と相互交流から、地域活動の輪が広がっています。
- 地域交流センターでは学校と地域が施設を有効に活用することで、学校を核とする新たな地域づくりが進んでいます。

#### ■ 課 題

- 住民自治協議会(住民協議会)の自律的な運営が持続できるよう、地域組織と行政の役割を整理する必要があります。
- 市民活動をより推進していくため、市民活動センターと連携し、人材育成や市民活動団体の相互の連携を図る必要があります。
- 地域資源を生かした特色ある取組を推進し、郷土への愛着を高め、地域の魅力を情報発信していくことが必要です。

#### ■ 主な取組

- 住民自治協議会(住民協議会)を中心とする地域活動の推進を支援していきます。
- 市民活動団体の支援やネットワークの拡充を図り、市民活動の活性化に取り組みます。
- 行政と地域が協働して、地域を担う人材を育成するとともに、地域資源を活用した特色ある取組を進め、地域の活性化を図ります。

#### ■ 関連計画

- 地域計画

#### ● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
住民自治協議会(住民協議会)の認知度	63.5%	80.0%	▲
地域づくり活動への参加率	21.7%	40.0%	▲
地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数	40団体	50団体	▲

#### 市民ができること

- ◆ 住民自治協議会(住民協議会)が取り組む地域課題の解決に向けた市民活動へ積極的に参画しましょう。
- ◆ 地域づくり活動を行う市民活動へ積極的に参加しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 超高齢社会は、将来新たな地域課題を生み出す可能性が高く、住民自治協議会(住民協議会)が策定する「地域計画」においてもその視点が必要になります。その解決に向けて、地域と行政が一緒になって、防災や福祉をはじめ幅広く地域課題の洗い出しを行い、地域と行政がそれぞれの役割を整理し、協働して地域づくりを進めていくことについて協議しておく必要があります。また、子どもから高齢者まで幅広い世代が地域づくりに取り組むためのモデルとなるよう、地域交流センターを拠点とする様々な地域活動を支援していく必要があります。

### 4. 人も地域も頑張る力 地域づくり

## ②中山間地域の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

### 中山間地域への子育て世代の新規転入世帯 **50世帯**

地域資源を生かした取組や情報発信の充実を図り、交流人口の増加と関係人口の創出に努め、移住者を増やしていくことで、集落の維持と地域の活性化を図ります。

#### ■ 現 状

- 中山間地域は、人口減少と少子高齢化によって地域の担い手が減少し、防災対策や生活環境の維持など、集落機能の維持さえ危ぶまれています。
- 中山間地域は、豊かな自然をはじめ、歴史、文化などの地域資源に恵まれており、地域ならではの魅力が豊富にあります。
- 農林業など、基幹産業の従事者の高齢化や後継者不足により、生産性の低下、耕作放棄地の増加、森林の荒廃を招いています。

#### ■ 課 題

- 増加する空き家の有効活用に取り組み、移住・定住を促進していく必要があります。
- 豊かな地域資源を有効に活用し、交流人口の増加と関係人口を創出するための取組が必要です。
- 子育て世代から一人暮らしの高齢者まで、安全安心な暮らしを守るための生活支援策を講じていく必要があります。

#### ■ 主な取組

- **New!!** 「まつさか移住交流センター」を拠点に、中山間地域への移住と定住の促進を図る事業を推進し、移住者・定住者を増加させます。
- 地域と行政、地域おこし協力隊が連携し、地域資源の掘り起こしと情報発信を行うとともに、地域を担う人材育成に取り組みます。
- 地域資源を生かす取組を進め、交流人口や関係人口を増やしていくことで、産業の振興を図るとともに、商工会等との連携によって雇用の確保に努めます。
- **New!!** 買い物支援や住民参加型の助け合い活動などを推進し、安全に安心して暮らし続けられる地域づくりを進めます。
- **New!!** 地域と協力して県立飯南高等学校の魅力化に取り組み、地域を担う人材の育成を支援します。

#### ■ 関連計画

- 松阪市過疎地域自立促進計画

● 数値目標 ●

項目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
空家バンク成約世帯数(累計)	57世帯	90世帯	▲
飯南・飯高管内施設の宿泊者数	17,128人	17,500人	▲
生活支援の取組	0地区	10地区	▲

市民ができること

- ◆行政と連携して、中山間地域の集落維持と地域振興に取り組みましょう。
- ◆豊かな自然や歴史、文化など、中山間地域の魅力を広く情報発信しましょう。

■ 超高齢社会に向けた視点

- 人口と世帯数の減少が進む中、10年、20年先を見据えて、集落を維持する方策を講じていく必要があります。そのためには住民自治協議会(住民協議会)を中心に市民と行政が連携し、地域の特性に応じた施策が必要です。中でも増加する空き家を、有効活用する移住・定住の促進が急務であり、また子育て世代から一人暮らしの高齢者まで、安全に安心して暮らせる生活支援策も必要です。

4. 人も地域も頑張る力  
地域づくり

## ③社会教育の推進

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

### 地域住民の教養が向上し、青少年の健全育成をするまち

地域住民の教養の向上や青少年の健全育成をめざします。

#### ■ 現 状

- 公民館を設置し、館長をおいて、社会教育の推進にあたっています。
- 青少年から、犯罪やトラブルについての相談があります。
- 図書館の利用について、新型コロナウイルス感染症対策や様々なニーズに対応していく必要があります。

#### ■ 課 題

- 公民館講座の受講者の高齢化、若い世代の利用が少ない状況です。
- インターネットの普及により発生した、新たな犯罪から青少年を守る必要があります。
- 地域格差がある図書館利用者の利便性の向上が必要です。

#### ■ 主な取組

- 地域開放型図書館の利便性を向上させます。
- 子育て世代に向けた、公民館講座を開設します。
- インターネットを活用した、青少年の悩み相談の普及に取り組みます。

**New!!** 図書館の電子書籍の利用拡大を図ります。 **感染症**

#### ■ 関連計画

- 松阪市こども読書活動推進計画
- 松阪市教育ビジョン
- 松阪市教育大綱

#### ● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
地域開放型図書館の利用数	4,647人	5,000人	↗
公民館の子育てに関連する講座数	239講座	250講座	↗
青少年の悩み相談件数	33件	50件	↗
図書館電子書籍貸出数	2,056冊	3,000冊	↗

#### 市民ができること

- ◆ 地域開放型図書館や公民館を利用しましょう。
- ◆ 公民館事業へ積極的に参加しましょう。

4. 人も地域も頑張る力  
地域づくり

## ④文化の振興

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

### 文化活動に対する市民満足度 **20%** (R1年度 14.4%)

松阪市には長い歴史の中で洗練されてきた独自の文化や芸術が、まちの中に息づいています。こうした地域の文化芸術に触れることは、市民の豊かな心を育み、未来の松阪の文化芸術の担い手を育成し、まちの活性化につながるものと考えます。そのため市民一人ひとりが誇りや愛着を持ってそれらに親しみ、文化芸術活動に関わることのできる地域づくりをめざします。

#### ■ 現 状

- 市内には重要文化財や特別史跡などの魅力的な歴史文化遺産が多数存在しています。
- 次世代を担う子どもや青少年が減少するなど、地域の伝統文化の継承・発展に支障が生じています。
- 地域活性化の原動力として「シビックプライド(住民や働く人の都市への誇りや自負)」の概念が注目され取り入れられつつあります。
- 2019 (R1) 年度の松阪市市民意識調査の結果では、「地域への愛着がある」が70%以上、松阪の良さを「歴史文化がある」とする人が22%で上位から5番目、文化活動の振興政策を重要とする人が約30%となっている状況です。また、施設面では文化・スポーツの施設が整っていないとする人が多いことがわかります。

#### ■ 課 題

- 歴史文化を身近に感じられるように文化施設等の整備を進める必要があります。
- 文化財を守り、継承するための取組が必要です。
- 文化芸術に関わる市民を支援し、人材育成に努める必要があります。
- 文化振興を通じた、シビックプライドの醸成がまちづくりの面で求められています。

#### ■ 主な取組

- 文化財を適切に保存管理し、地域の歴史文化にふれる機会を増やします。
- 市民の宝である史跡等を、より身近に感じられるように整備を進めます。
- 子どもたちが、文化芸術を楽しめる機会を提供します。
- 創る機会、観る機会、見せる(魅せる)機会を増やします。

**New!** 新型コロナウイルス感染症収束後に多くの人が集えるように、文化財等を磨き上げます。 **感染症**

- 地域の祭りや伝統行事を継承・発展させていきます。 **超高齢**

#### ■ 関連計画

- 松阪市教育ビジョン
- 松阪市観光振興ビジョン

## ● 数値目標 ●

項目	現状(年度)	目標(R5年度)	目標種別
文化財センター・歴史民俗資料館・松浦武四郎記念館の一日当たりの入館者数(3館合計入館者数／3館合計開館日数)	101人(H30)	110人	
松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率(3館合計利用日数／3館合計開館日数)	78.5%(R1)	85%	
過去一年間に学校以外で文化財施設に一つ以上行ったことのある児童生徒の割合	児童58% 生徒46%(R1)	児童75% 生徒60%	

## 市民ができること

- ◆ 博物館や資料館、文化センターにでかけましょう。
- ◆ 文化芸術活動に参加しましょう。
- ◆ 地域の歴史文化資源を探してみましょう。
- ◆ 地域の祭りや伝統行事に積極的に参加しましょう。

### ■ 超高齢社会に向けた視点

- 地域の祭りや伝統行事の担い手が不足する傾向にあり、それに対する手立てが必要です。

4. 人も地域も頑張る力  
地域づくり

## ⑤スポーツと運動したまちづくりの推進

チャレンジ!

■ 10年後のめざす姿

年間スポーツ参画人口 延べ500,000人

(H30年度スポーツ参画人口 延べ360,000人)

スポーツを通じて地域に活力を与えるとともに、参加する人・応援する人・協力する人が同じ目標に向かって協働することにより、本市におけるスポーツ活動の魅力を高め、交流人口の増加や地域経済への波及効果などをめざし、スポーツと運動したまちづくりを進めます。

### ■ 現 状

- 市民の約5割が、この1年間で運動やスポーツを行っていません。
- 市民の約7割が、ここ2～3年で松阪市の公共スポーツ施設を利用していない状況です。
- 市民の「スポーツの推進に対する満足度」が上昇傾向にあります。

### ■ 課 題

- スポーツ活動を身近に感じ、親しみやすい環境を整える必要があります。
- スポーツを通じた交流人口拡大の取組が必要です。
- 市民がスポーツ活動に参画できる機会を増やしていく必要があります。

### ■ 主な取組

- 様々なスポーツ大会やイベントを開催するなど、スポーツを身近に感じ、親しめる機会を提供します。
- 子どもたちへのスポーツ機会を充実するとともに、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。
- 公民連携によるスポーツイベントを開催することで、交流人口の拡大につなげます。
- スポーツ活動での「つながり」から好循環を生み出し、スポーツ参画人口の拡大に努めます。
- トップアスリートを見て学ぶ場を提供するとともに、地域の優れた選手をバックアップします。
- スポーツ施設を計画的に改修し、スポーツ活動に親しみやすい環境を整えます。

### ■ 関連計画

- 松阪市スポーツ推進計画
- 松阪市教育大綱
- 松阪市教育ビジョン

## ● 数値目標 ●

項目	現状(年度)	目標(R5年度)	目標種別
気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度	3.00/5(R1)	3.10/5	
公共スポーツ施設を利用している市民の割合	11.5%(R1)	20.0%	
「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価 (※H30の現状値はシティマラソン時の評価)	62.9点(H30)	90点	

## 市民ができること

- ◆ スポーツ大会やスポーツイベントにボランティアスタッフとして参加しましょう。
- ◆ スポーツを頑張っている人を応援しましょう。
- ◆ 日ごろからスポーツを楽しみましょう。

## ■ 超高齢社会に向けた視点

- 高齢者が気軽にスポーツを楽しみ、健康の維持・増進を含め、様々な人々との交流やコミュニケーションを図れる場所や機会づくりが必要です。

4. 人も地域も頑張る力  
地域づくり

## ⑥ 人権尊重・多様性社会の推進

**チャレンジ!** ■ 10年後のめざす姿

### 人権が尊重され多様な生き方が100%認められるまち

市民一人ひとりの人権が尊重され性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化や社会背景、性的指向・性自認などに関わらず、全ての人が自分らしく生きられる地域社会の実現をめざします。

#### ■ 現 状

- あらゆる差別をなくすために人権啓発に取り組んでいますが、様々な人権問題が発生しています。
- 全国的にインターネット上での特定の人物や地域への誹謗中傷や人権侵害の書き込みがみられます。
- 自殺問題は、深刻な社会問題となっています。

#### ■ 課 題

- 幅広い年齢層に効果的・効率的な啓発を行うために、様々な機関が連携して人権啓発活動を行う必要があります。
- 外国人住民が住みやすいまちづくりを進めるため、多言語での情報提供などが必要です。
- 誰もが活躍できるよう、社会全体で子育てや介護を支援していく環境づくりが必要です。

#### ■ 主な取組

- 人権意識の高揚のため、講演会等を開催します。
- 外国人住民への母語による相談・情報提供などを行います。
- 人権擁護や自殺予防などのための相談窓口の連携、周知を図ります。
- 各種団体・企業などの政策・方針決定過程への男女共同参画を進めます。

#### ■ 関連計画

- 松阪市人権施策基本方針
- 松阪市人権施策行動計画
- 松阪市男女共同参画プラン
- 松阪市人権教育基本方針
- 松阪市自殺対策推進計画

#### ● 数 値 目 標 ●

項 目	現状(R1年度)	目標(R5年度)	目標種別
人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合	68.4%	85.0%	↑
多言語による生活情報などの提供・支援件数	7,724件	10,000件	↑
家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合	30.1%	35.0%	↑

#### 市民ができること

- ◆ お互いの人権を尊重し、みんなで差別をなくしましょう。
- ◆ 男女共同参画社会への理解を深めましょう。

